

一般質問

質問した順番で掲載しています。
各議員名の下にあるQRコードから質問の映像をご覧になれます。

会派代表質問



市民クラブ

井上 重久



市長の任期後半の留意すべき政策

問 市長就任後に立ち上げた3つの重点プロジェクトの取組状況と平和公園スポーツ施設の再配置の進捗状況を伺いたい。

答 経済再生プロジェクトでは、企業誘致や地場事業者の人材確保のための支援等により、日本人の転出超過の改善につながっている。また、少子化対策プロジェクトでは、交際や結婚希望者の出会いの場の創出等に取り組み、新市役所創造プロジェクトでは、人事戦略の策定や財政健全化のほか、キャッシュレス決済の拡充等による市民の利便性向上等に取り組んでいる。平和公園スポーツ施設の再配置については、陸上競技場にプールを配置し、中部下水処理場に陸上練習場として40mトラックを再配置することが適当と判断しており、今後、規模や配置等の検討とイメージパースの作成を進め、市民により理解を深めていただけるよう取り組んでいく。



自民創生

吉原

孝



財政運営

問 本市の財政は多くを国などからの依存財源に頼っており、人口減少の影響により、長期的には市税総額の減少などが見込まれ、多額の基金を取り崩す予算編成が続くと予想されるが、令和7年度から11年度までの5か年の中期財政の見通しを伺いたい。

答 本市の財政運営は、収支不足の状態が続くことから、毎年度5億円の戦略的な収支改善に取り組むことで、一定の基金残高を確保できる見通しである。

今後も、厳しい財政運営が続くことが想定されるが、中期財政見通しの時点修正を行い、戦略的収支改善を継続して実施するとともに、重点プロジェクトアクションプランに基づく取組を着実に進めることで、時代の変化に対応した持続可能な財政運営につなげていきたいと考えている。



新政ミライ

平野

剛



長崎スタジアムシティへのロープウェイ延伸

問 実現するためには、既存鉄塔の3倍の高さとなる大型鉄塔の建設費や、関係地権者との調整が必要であること、稲佐山山頂展望台周辺の収容力不足などが課題となり検討が進んでいないことだが、長崎を思い投資を行ったきた事業者からの提案であり、市もこの機会をチャンスと捉え、実現に向けて動くべきではないか。

答 延伸に当たっては、様々な課題があることから短期的に実現させることは難しいと考えている。既存ロープウェイ施設の鉄塔については、少なくとも令和15年度までは安全性を確認しており、今後のロープウェイ施設の在り方については関係者とも連携を取りながら検討していく。



▲長崎ロープウェイ



公明党

向山

宗子



休日在宅当番医体制の見直しによる小児医療体制の強化

問 開業小児科医の高齢化に伴う急激な小児科病院数の減少により、休日在宅当番医体制の維持も困難になることが想定されるが、他都市で取り組まれているような集約した休日診療所の設置や基幹病院での対応など、在宅当番医体制に替わる取組を進めるなど本市の小児医療体制の強化策について伺いたい。

答 小児の人口は減っているものの、休日在宅当番医の受診者数は増加するなど、受入体制の維持は喫緊の課題であると認識している。医師の高齢化や医療の担い手不足などが理由で、応需体制が厳しくなることを念頭に、市医師会との協議の場を設け、今後を見据えた一次救急の在り方の検討を始めており、危機感を共有し早急に検討を重ねていきたい。

